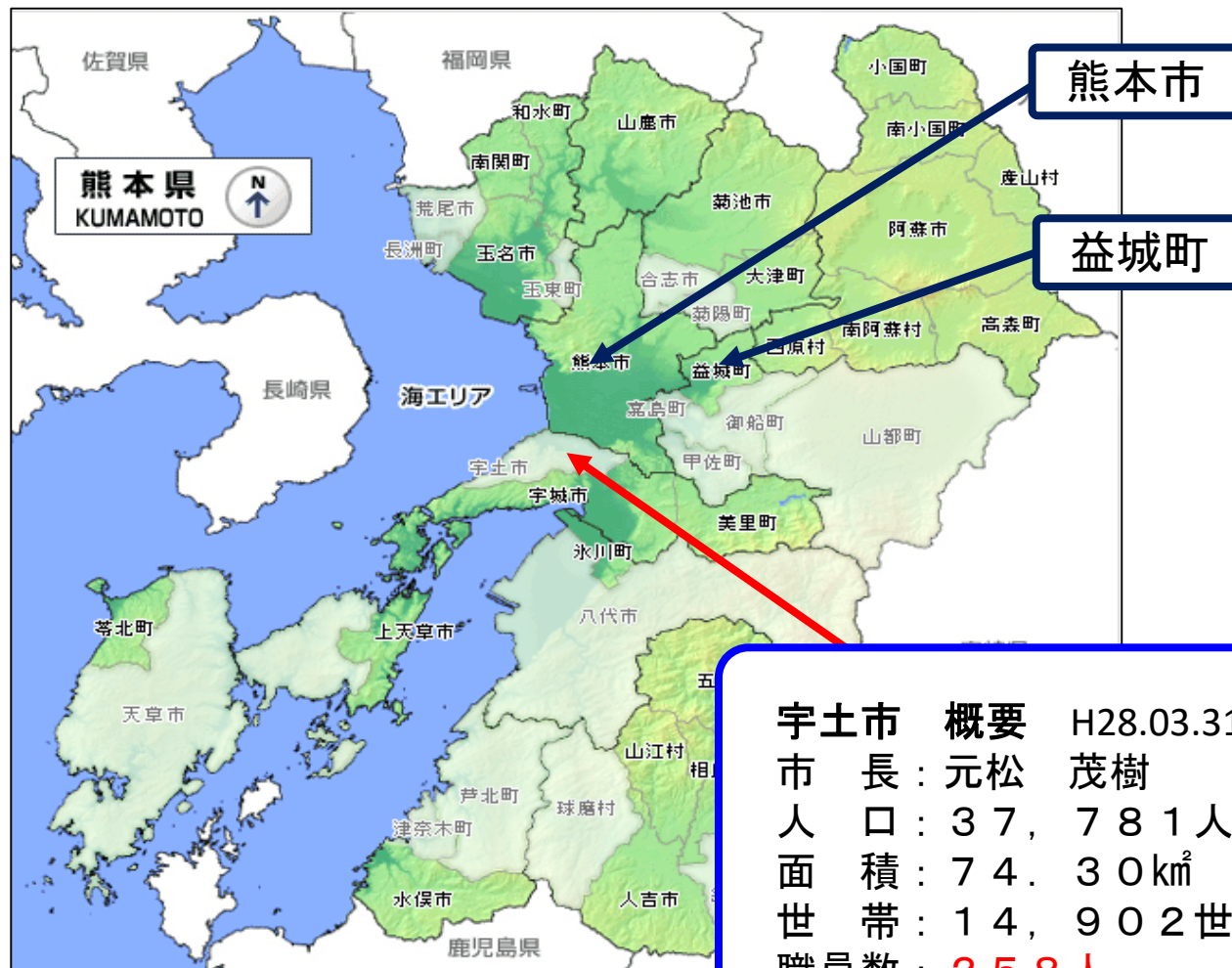


平成28年熊本地震支援活動報告



平成29年1月25日 大和市防災会議

1. 宇土市の概要



宇土市	概要	H28.03.31現在
市長	元松 茂樹	
人口	37,781人	
面積	74.30km ²	
世帯	14,902世帯	
職員数	258人	

2. 宇土市の被害状況



画像1：宇土市役所



画像2：宇土市内の被害状況

被害状況	H28.04.20	H29.01.13
死者	0人	6人
重症者	5人	41人
軽症者		23人
全壊	4棟	124棟
半壊	7棟	1,525棟
一部損壊	不明	5,319棟
避難所数	16か所	—
避難者数	2,791人	—

※熊本県発表速報値

3. 被災地への支援

■大和市独自の支援

(1)被災地支援隊(先遣隊) 職員4人

隊長:危機管理監

隊員:建築指導課(応急危険度判定士)、
警防課(消防吏員)、救急救命課
(消防吏員・救急救命士)

4/16(土)20:00 大和市役所出発

4/17(日)~20(水) 支援活動

4/21(木)10:35 大和市役所到着



画像3：元松宇土市長への部隊到着報告

「主な活動」

- ①宇土市災害対策本部運営補助
- ②保健衛生用品の搬送
- ③支援物資の受入・被災者への配布
- ④大和市への物資支援の指示
- ⑤建物安全確認

3. 被災地への支援

(2)物資輸送班 職員4人

危機管理課係長、管財課車両担当3人

4/18(月)16:00 大和市役所出発

4/19(火) 物資引渡し

4/20(水)10:30 大和市役所到着

「主な支援物資」

- ①紙おむつ(大人用、子供用) ②生理用品
- ③携帯トイレ ④粉ミルク ⑤トイレットペーパー
- ⑥タオル ⑦ウェットティッシュ ⑧ごみ袋

■その他の支援

(3)応急危険度判定士(神奈川県チーム)

○2班、計4人派遣

熊本市、益城町にて活動



画像4：支援物資の荷下ろし活動

4. 活動を終えて

(1) 被災地支援のあり方

「災害支援の原則は、被災地からの要請に対し、迅速かつ的確に応えること」ではあるが・・・

物資を支援する際に配慮すべきことは何か？

- ・ 時間
- ・ 活動従事者
- ・ 物資の種類・仕様

我慢ができないもの、代替が効(利)かないものを最優先(同一仕様をまとめて搬送)



画像5：民間事業者の支援物資

4. 活動を終えて

①宇土市災害対策本部に到着し、支援を申し出たところ、直ちに活動を指示された。

⇒翌日の午前0時30分まで活動

②宇土市では、一部の職員を除き休養を与えるために帰宅させた。

⇒市民は24時間支援を求めてくる。

③発災直後に必要な物資は、予め想定できる。

⇒確認するまでの空白時間を減らす。

④物資支援は、物を搬送することだけで完了したとはいえない。

⇒明らかに被災地では、活動要員が不足している。

4. 活動を終えて

⑤ 激しい余震が続く中では、計画通り進まないことがある。

⇒ ボランティアに頼る計画の限界。

⑥ 活動に必要な十分なスペースを確保することができていた。

⇒ 活動車両の待機スペースが必要。

⑦ その日の内に、被災地に向けて出発。

⇒ 職員の危機管理に対する意識。

被災地の状況

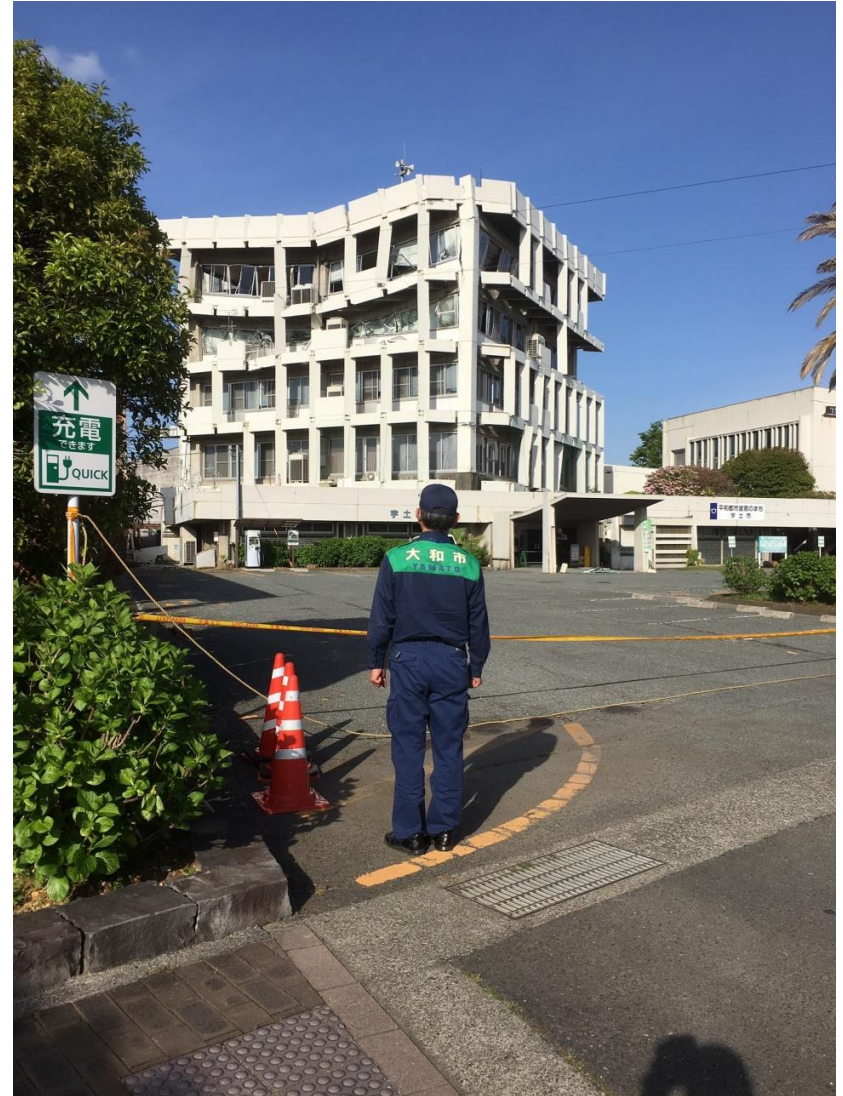
(画像)

被災地に向け出発



本震の発生した当日夜、直ちに熊本に向け出発

損壊した宇土市役所庁舎



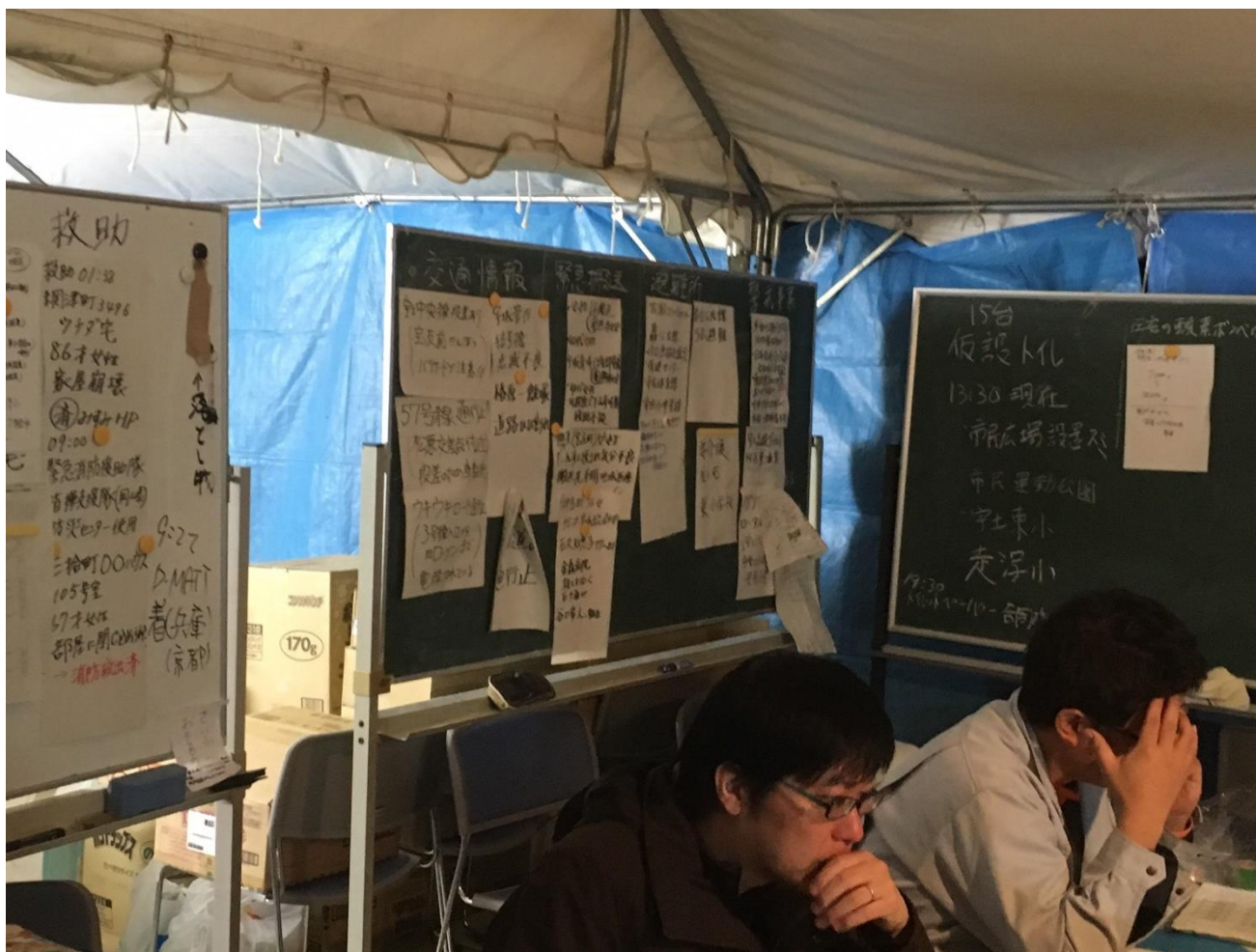
庁舎4階が押しつぶされている

宇土市災害対策本部の様子



屋外テントに本部を設置

宇土市災害対策本部の様子



被災状況などは、手書きで処理

支援物資の受入支援



送られてきた物資を必死に運び、仕分ける。

宇土市長からのメッセージ



～元松宇土市長のメッセージ～
「本当に助かりました！」

活動を終了し、市役所へ帰庁



活動終了報告